

上目黒小の風

子どもが主役の楽しく学び合う学校

目黒区立上目黒小学校校長室

平成22年1月29日 第15号

校長 岡部良美

『よさを学び合い、高め合い、自信を深める』期・『仕上げる・かがやく』ステージ

上目黒しぐさ(第2回)

された人も、した人も、
そばで見えていた人も、
気持ちがよくなる言葉や
しぐさを考えましょう

第2回「上目黒しぐさ」の紹介です。
前回の作品をご家庭で話題にして
いただけたでしょうか。
今回も秀作ぞろいです。

「しぐさ名」(学年)
しぐさの説明や、考えた理由



(校長室前廊下)

「みんなでなかよくする」(1)
みんなけんかをしたら、すぐにあやまること、
あとけんかをしないことがたいせつです。

「ともだちにやさしくしようかみめぐ
ろ」(1) つねに、ともだちのことをおもい、
やさしくします。

「え顔で元気にあいさつ」(2)
あいさつをするとき、え顔と元気をいっしょに
すると、いいきもちになります。

「友だちしぐさ」(2)
休み時間に友だちに「いっしょにあそぼう」と
言われるとうれしいからです。みんなが友だち
となかよくできると思います。

「上小つうこう」(3)
すぐくかんたんで、ぜったい右がわつうこうす
ることです。そうしたら、かたとかがぶつから
ないと思います。

「ハイタッチ」(4)
自分とかが点などを入れた時、ハイタッチをす
るとうれしくなるからです。

「ごめんね」(4)
けんかしてもすぐに「ごめんね」と言うと、言っ
た人もすっきりします。された人も「ごめんね」
と言うとおたがいにすっきりするし、仲なおり
できます。見ていた人も安心します。

「なかよししぐさ」(1)
けんかをしないでみんなでなかよくあそぶこと
や、ともだちをきずつけるようなことをいわな
いようにします。

「えがおしぐさ」(1)
なにかしてもらったときに、えがおで「ありが
とうございます」というしぐさです。

「ごめんね」と「いいよ」(2)
けんかでなかなかおりをするときに、あやまる人
が「ごめんね」と言って、「ごめんね」と言われ
た人が「いいよ」と言います。

「朝のあいさつ」(2)
みんなでゆずりあう心で、やさしい学校にすれ
ば、みんなであつたのしくあそべます。

「かげん遊び」(3)
校庭でたとえば、キャッチボールをしている時、
うしろになわとびで遊んでいる人がいたら、あ
たらないようによわくボールをなげたり、いど
うしたりすることです。

「いいことしぐさ」(4)
たとえば、ころんでけがをしている人をなぐさ
めるしぐさです。たくさんいいことをすれば、
上目黒小学校のみんながやさしくなれます。

「大丈夫？」(4)
友達に何かあった時、かける言葉です。

「ごめんなさい」(5)

けんかをしてこの言葉を言えばすぐ仲直りできるので、すぐあやまることが大切です。あやまれば相手もあやまってくれます。

「すれちがったら、笑顔であいさつをする」(5) 笑顔であいさつをしたら、とても気分がよいからです。おたがいにあいさつしたら気分がよく一日すごせます。

「目があったら、こんにちは」(5)

知っている保護者の方と、目があっても時々通りすぎてしまうことがあるので、このしぐさを決めました。また、これが学校の外でもできたら、それを見ていた地域の人もとてもいい気持ちになると思います。

「アイさつ」(6)

毎日会った人にあいさつをすると、お互いに気持ちがよくなります。あいさつの「あい」がカタカナなのは「あいさつ」に『愛』がこもっているということです。私は、日頃から気持ちを込めてあいさつをすることを心がけています。そして、上目小全体が『愛』でいっぱいになってほしいです。

「拾って机におく」(6)

落とし物を見つけた時に、このあたりの机の人の物だと思って、机におくと思います。目の前で拾っておいているところを見たことがあるし、自分もやっています。

「手貸し返却」(6)

これは、給食の時、「ごちそうさま」をした後に、自分が早く終わった時に、まだ食べ終わっていない友達の食べ終わった食器を片づけてあげることで、また、片づけが大変そうな友達を手伝ってあげることで、私が考えた理由は、私が放送委員で食べるのが遅くなってしまう時、友達や先生に片づけてもらったことがあり、されて気持ちがよくなったからです。またそれを友達にした時、気持ちがよくなったからです。手貸し返却をすることで、給食の片づけも早く終わるので、一石二鳥です。

「かすしぐさ」(5)

友達の物がなかった時に、自分のものをかすことです。

「声かけしぐさ」(5)

こまっている人や、一人で遊んでいる人などがいたら、声をかけると相手のほうも気持ちがいいし、自分もうれしい気分になるからです。

「無病息災」(5)

けんかなどのトラブルが起きず、平和な小学校にする考えです。

「あいさつしぐさ」(5)

頭をさげて、大きな声であいさつをすると相手も喜びます。

「笑顔であいさつしよう」(6)

一見簡単そうだったけれども、笑顔であいさつをしようというしぐさを考えました。理由は、笑顔であいさつをすると、まわりの人やされた人、した人も気持ちよくなるからです。

「ありがとう」(6)

「ありがとう」という言葉は、普通の言葉の感じが大きいけれど、「ありがとう」と言われると気持ちがパッと晴れて、笑顔が自然に出る言葉だと思いました。この「ありがとう」という言葉が増えれば、ほぼ毎日ある学校が楽しく通えると思いました。

「にこにこ笑顔」(6)

もし落ち込んでいる人や、泣いている人を見たら、笑顔でそばによることで、その子と一緒に笑顔になってくれればいいと思いました。

「あいさつしぐさ」(6)

あたりまえのことだけれど、あいさつをしない人がいるから考えました。さらに、自分もあいさつをしたり、されたりすると気持ちがよいからです。みんな気持ちがよくなると思います。